

### まるで迷路 ダム湖探検隊 in 志津見

6/13  
日

志津見ダムを探検する「ダム湖探検隊 in 志津見」が開催され、志々地区の親子など約40人が参加しました。

ダム湖の監査廊(管理用通路)では、地下迷路のように伸びる通路に驚いたり、冷たい空気を浴びたりしながら、ダムの知識を深めました。外に出て、水が噴き出す堤防を間近で見たり子どもたちは、大きな声を上げて喜んでいました。

このイベントは志々未来会議が主



大満足の皆さん(撮影時のみマスクを外しています)

催。夏休み期間中に、「ダム湖の水面を走る巡視艇の体験会」も企画する予定です。

### バッククッキングに挑戦 頓原公民館料理教室

6/11  
金

頓原公民館主催の「料理教室」が交流センターとんばらで開催されました。

集まったのは地域の若者11人。栄養士の石橋佐知子さんの指導で、災害時にも役立つ「バッククッキング※」に挑戦し、計10品を作りました。

料理教室は、頓原公民館が実施した住民アンケートで、要望の多かった企画の一つ。次回も地域の若者を対象に、秋頃開催される予定です。



※材料をポリ袋に入れて、鍋で沸かしたお湯に入れるだけの調理方法

限られた水で調理でき、衛生的なので災害時にも重宝

### 捨てずに再利用 おゆずり会

6/20  
日

使わなくなった衣服や日用品などを譲り渡す「おゆずり会」が、来島交流センターで開催されました。

会場には、町内から集まった子ども服や絵本、ぬいぐるみ、おむつ(未使用)などが並び、訪れた人は気に入ったものを持ち帰っていました。

イベントを企画した澤田美咲さん(真木)は「子ども服やおもちゃは、綺麗なまま使わなくなることも多くあります。眠っている服や捨ててしま



お気に入りを探る来場者。来場者同士の交流も広がっていました

おもちゃを、地域の中で循環できたらと企画しました。来ていただいた方に楽しんでもらえてよかったです」と話していました。

### 「社会を明るくする運動」 「青少年非行・被害防止」 メッセージ伝達式

7/1  
木

「社会を明るくする運動」と「青少年非行・被害防止」のメッセージ伝達式が役場本庁舎で行われました。

伝達式では、雲南地区保護司会代表の安部治之さん(野萱)と武上武志雲南警察署署長が「犯罪・非行の防止」や「罪を犯した方の更生」「次世代を担う青少年の健全育成」への理解と協力の願いが込められたメッセージを、塚原町長に伝達しました。

「社会を明るくする運動」は全ての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生への理解を深



め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築くための全国的な運動です。

### 今日はお花が主役 ハッピーフラワーマーケット

6/20  
日

来島交流センターで「ハッピーフラワーマーケット」が開催されました。会場には、生花やドライフラワー、お花のクッキーや髪飾りのお店が出店。親子連れなど約250人が来場し、ドライフラワーでリースを作ったり、花柄のくるみぼたんや缶バッジを作ったりしました。

このイベントは、「ぼたんまつりやポピー祭りが中止になった今だからこそ、お花に触れる機会を作り、地域を明るくしたい」との想いで、「みんなの来島プロジェクト」が企画。それぞれに違った表情を魅せるお花たちが来場者を楽しませていました。



ドライフラワーアートづくりの真っ最中。カナヅチをたたく音が会場に響く



サボテンなどの多肉植物に興味津々



来場者で賑わう会場。外ではコーヒーやクレープも販売

### 平和を願う心を継承 中央図書館平和講座

7/4  
日

「永井隆博士の生き方と生涯について」と題した平和講座が、来島交流センターで開催されました。

永井隆記念館(雲南市)館長の藤原重信さんが講師の講座には、15人が参加。永井隆博士の生い立ちや医師としての活躍、被曝してからの生き方をまとめたDVDを鑑賞した後、藤原さんのお話に耳を傾けていました。

参加者は「永井隆博士のことをもっと知りたくなり、たくさんの方に知ってもらいたくなりました。リ



永井隆博士の著書は中央図書館で借りられます

ニューアルした永井隆記念館にも行ってみたい」と話していました。

### 防犯功労者表彰 藤原昭男さんが受賞

7/6  
火

藤原昭男さん(志津見)が、防犯功労者表彰を受賞されました。長年にわたり、志々地区全域のパトロール(街灯点検含む)や、志々小学校に通学する児童の見守りなどで、安心安全な地域づくりに貢献された点が評価。

藤原さんは「自分にできることを続けてきただけのことです。ずいぶん歳をとったけど、元気なうちは続けていきたい」と話していました。

